

## 令和3年度事業報告

今年度を振り返ると、状況は前年と同じ流れのまま期待した事態の収束には至らず、悪戦苦闘の中 各部門前年割れの回避を目指し諸施策に取り組んだが、僅か届かず、未達となってしまった。

要因を探れば厄災禍につきるが、**受注部門**は派遣があまり社会変動に影響されず、順調に数字を重ねることができ県内首位をキープし過達となるも、請負が景気低迷や、感染休業・営業の規制等を受け、更に下四半期の冬季需要低迷期と重なり、前年比96.1%と不振で、全体でも99.1%、金額で△220万円の前年割れとなってしまった。

**安全就業**については基本講習会、安全パトロール、チラシによる啓発等、安全委員会の活動で意識改革が浸透してはいるものの、事故減少にはつながらず、今後は無事故を目指し取り組んでいきたい。

人的資産である**会員の拡大増強**は、移動入会説明会や、広報への掲載PR、新聞折り込みチラシ等各種伝達手段により周知を図り、又会員による紹介キャンペーンを実施し、相応の入会者を確保したが、しかしそれを上回る現会員の高齢・健康・介護等の説得不能の理由による退会者が予測以上に多く出て、結果として18名減の442名となった。会員の高齢化が進み、リーダーや幹部候補の人材不足は顕著になりつつあり、就業人員の配備にも支障が生じる事態にならぬよう、退会抑止策と新規会員の増強は喫緊の課題となって迫っている。

取り巻く環境は厳しいものがあるが、市の施策は積極前向きの姿勢が多く盛り込まれ、「しんまち」を起点とし「とみぷら」・「とみやど」等、我々周囲の情勢はまさに活性化の中核で躍動しようとしております。

このような状況下で、女性会員の活動の拠点となるギャラリー「なごみ」が心機一転、別天地で新装オープンを向かえるのも大きな「風」を感じられ、これを機に福祉・子育て支援・ワンコインサービス・会員の作品販売等々女性部の勢いを拡大し、「笑顔美人集団」富谷のパワーを内外へ発信アピールに期待したい。厄災の早期収束を願い、守勢から攻勢へ連帯と協調で、地域から評価され魅力ある高齢者集団を目指し、頑張りましょう。

以下令和3年度の事業実施状況を報告いたします。

○令和3年度事業計画と事業実績、達成率

項 目	事業計画	事業実績	達成率
正 会 員	487 人	442 人	90.8%
特別会員	1 人	1 人	100%
賛助会員	11 人	11 人	100%
受注件数	1,700 件	1,419 件 (内派遣 78 件)	83.5%
受注契約金額	260,000 千円	251,651 千円	96.8%
(受託事業)	(143,000 千円)	(134,816 千円)	(94.3%)
(労働者派遣事業)	(117,000 千円)	(116,835 千円)	(99.9%)
就業延人員	51,000 人日	47,887 人日	93.9%
就 業 率	95%	94.1%	99.1%
粗 入 会 率	3.50%	3.08%	88.0%

## 1. 就業開拓提供事業

より多くの会員に就業の機会を提供するために、高齢者の知識、技能、経験を把握分析し、法令遵守を念頭におきながら、お客様、地域のニーズに対応する仕事の受注を目指すため、以下のことを実施した。

- (1)新聞へのチラシの折込（富谷市一部地域）
- (2)理事・会員・職員による就業機会の開拓  
（事業所訪問、一般家庭訪問、会員のロコミ等）

## 2. 普及啓発事業

地域社会にシルバー事業への理解と高齢者の加入促進を図るため、以下のことを実施し、また独自事業「ギャラリーなごみ」を運営し、しんまち通りの活性化に貢献するとともに女性会員の就業の場を創出した。

- (1)普及啓発月間における活動
- (2)チラシ配布
- (3)会報の発行
- (4)ホームページによるタイムリーな情報公開
- (5)広報紙に会員募集を掲載
- (6)「ギャラリーなごみ」の新聞、雑誌への掲載、テレビ等での放映
- (7)宮城県シルバー人材センター連合会 CM（コマーシャル）出演

## 3. 調査研究

会員の就業率の向上、発注者に対するサービス（マナー）内容の改善・充実、さらには新たな就業等の活動機会開拓の方策を実施するために行っており、以下のことを実施した。

- (1)お客様満足度調査の実施(個人発注者及び企業に対するアンケート調査)
- (2)役員研修会の実施

演題「法人役員の法的責務と法人運営における役割」

講師 登米市シルバー人材センター 理事長 鶴沼 功氏

## 4. 相談事業

一般高齢者及び会員、育児支援利用者を対象に、以下のことを実施し、就業等に関する情報を提供した。

- (1)入会説明会 毎月1回開催
- (2)就業相談 随時
- (3)育児支援相談 随時
- (4)家事支援相談 随時
- (5)会員対象に面談を実施 随時

## 5. 安全・適正就業の推進

仕事の品質の向上と確保を図り、事故ゼロ・クレームゼロを目指し、顧客の信頼向上に努める。毎月1日と15日を「安全の日」と定め安全意識の高揚を図り、また各就業現場において危険予知活動を行い、事故を未然に防ぐよう努めた。

- (1) 毎月安全・適正就業委員会の開催
- (2) 安全パトロールの実施(年間10回実施)
- (3) 各種安全講習会の実施
- (4) 安全就業推進計画の遂行
- (5) 安全・適正就業推進大会の実施
- (6) 安全標語の募集及び表彰
- (7) 適正就業の普及推進(派遣事業の拡大強化)

## 6. 会員増強の促進

事業計画の目標値をもとに、会員の加入促進を図った。

- (1) 入会説明会の実施(毎月1回)
- (2) 市広報紙への会員募集の記載
- (3) 出張入会説明会を4回実施(開催地区への会員募集チラシの新聞折込)

## 7. 独自事業

当センターの特徴的な事業として、書道教室の運営や小物製作販売「ギャラリーなごみ」の運営をおこなっている。これらの事業は、地域の方々にご利用いただき、地域活性化及び交流の場の提供として貢献した。

### (1) 書道教室

毎月2回、大人の部7名と子供の部10名の生徒で各教室を開催した。

### (2) 小物製作販売「ギャラリーなごみ」

ア. テレビ放映等の広報効果により、来客数や他センターからの視察も増え、女性の就業拡大に繋がった。

イ. 令和4年1月19日シルボンヌ全国大会 IN TOKYO 2021(全国シルバー人材センター事業協会主催)で「ギャラリーなごみ」の女性会員活躍の事例発表と会場で「小物販売」を実施し、大きな反響があり、「ギャラリーなごみ」を広く多くの人に知っていただく機会となった。

## 8. 福祉・家事援助サービスの推進

市が推進する子育て支援事業の託児業務や、高齢者世帯の増加が進む中で、地域住民の福祉ニーズに応えられるよう、福祉家事援助サービスに対応できる会員の加入促進を図った。

### (1) 育児支援サービス

ア. 子育てサロン「ほっと育く」の継続運営

イ. 子供の一時預かり

ウ. 親子で楽しむリトミック教室の実施（外部講師）

(2)家事援助サービス

ア. 高齢者及び子育て世代への家事援助

(3)ワンコインサービス

ア. 富谷市地域包括支援センターとの連携で就業拡大

## 9. 社会参加活動の推進

「自主・自立、共働・共助」の精神を高めるためにも、ボランティアや社会参加を通して、地域社会への貢献と連携を深めた。

(1)子供達の安全・安心を守る巡回活動を各地区で実施した。

(2)「市公民館まつり」への参加協力について、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。

(3)「シルバーの日」の公民館等の清掃作業について、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。

## 10. 富谷茶による地域活性化と会員就業創出事業の取組

事業5年目にあたり、5月に茶摘み式を実施し、既存の茶畑と新茶木富谷宿観光交流ステーション「とみやど」で「焙炉(ほいろ)」により製茶作業を行った。

10月には「とみやど」オープニングセレモニーで富谷茶を振る舞った。

年間を通して、既存の茶畑及び幼木茶畑の管理を行った。

市より富谷茶復活プロジェクト事業肥培管理等の業務を継続して受託した。

## 11. 事業運営の効率化及び健全財政の推進

事業運営にあたって、業務の効率的運営を図り、また公益目的基準に適合するよう健全な財政運営に取り組んだ。

(1)不要支出の洗い出し

(2)消費節約の励行

(3)会計基準の変更による、内部監査の実施